

数と式 集合と命題 解答

$$1. \frac{1}{a} = \frac{1}{3+2\sqrt{2}} = \frac{3-2\sqrt{2}}{(3+2\sqrt{2})(3-2\sqrt{2})} = \sqrt[3]{3-2\sqrt{2}}$$

$$\frac{1}{b} = \frac{1}{2+\sqrt{3}} = \frac{2-\sqrt{3}}{(2+\sqrt{3})(2-\sqrt{3})} = \sqrt[3]{2-\sqrt{3}}$$

よって $\frac{a}{b} - \frac{b}{a} = (3+2\sqrt{2})(2-\sqrt{3}) - (2+\sqrt{3})(3-2\sqrt{2})$
 $= (6-3\sqrt{3}+4\sqrt{2}-2\sqrt{6}) - (6-4\sqrt{2}+3\sqrt{3}-2\sqrt{6})$
 $= \sqrt[3]{8} - \sqrt[3]{6}$

不等式 $|2abx-a^2| < b^2$ の両辺を正の数 $2ab$ で割ると $\left|x - \frac{a}{2b}\right| < \frac{b}{2a}$

よって $-\frac{b}{2a} < x - \frac{a}{2b} < \frac{b}{2a}$

ゆえに $\frac{1}{2}\left(\frac{a}{b} - \frac{b}{a}\right) < x < \frac{1}{2}\left(\frac{a}{b} + \frac{b}{a}\right)$ ①

ここで $\frac{a}{b} + \frac{b}{a} = (6-3\sqrt{3}+4\sqrt{2}-2\sqrt{6}) + (6-4\sqrt{2}+3\sqrt{3}-2\sqrt{6})$
 $= 12 - 4\sqrt{6}$

したがって、①は $\sqrt[3]{4} - \sqrt[3]{3} < x < \sqrt[3]{6} - \sqrt[3]{2}$

2. (1) 命題「 $q \Rightarrow p$ 」に対する反例は、条件 q を満たし、条件 p を満たさないものである。

①～④について、条件 p, q を満たすかどうかを調べると、次のようになる。

	a	b	$ a+b $	$ a-2b $	q	$(a+b)^2 + (a-2b)^2$	p
①	0	0	0	0	○	0	○
②	1	0	1	1	○	2	○
③	0	1	1	2	✗	5	✗
④	1	1	2	1	○	5	✗

(○は条件を満たす、✗は条件を満たさない)

よって、命題「 $q \Rightarrow p$ 」に対する反例は $a=1, b=1$ (③)

(2) 命題「 $p \Rightarrow q$ 」の対偶は「 $\bar{q} \Rightarrow \bar{p}$ 」である。

\bar{q} は $|a+b| \geq 1$ かつ $|a-2b| \geq 2$ (④)

\bar{p} は $(a+b)^2 + (a-2b)^2 \geq 5$ (⑦)

(3) 命題「 $p \Rightarrow q$ 」の対偶

「 $|a+b| \geq 1$ かつ $|a-2b| \geq 2 \Rightarrow (a+b)^2 + (a-2b)^2 \geq 5$ 」
 は真である。

【証明】 $|a+b| \geq 1, |a-2b| \geq 2$ の各辺を2乗すると

$$(a+b)^2 \geq 1, (a-2b)^2 \geq 4$$

これらの辺々を加えると

$$(a+b)^2 + (a-2b)^2 \geq 5 \quad (\text{証明終})$$

対偶が真であるから、命題「 $p \Rightarrow q$ 」は真である。

命題「 $q \Rightarrow p$ 」は、(1)より反例があるから偽である。

以上から、 p は q であるための十分条件であるが、必要条件ではない。 (エ②)